

The Museum of Arts & Crafts ITAMI
2016 ITAMI International Craft Exhibition

shuki shuhaidai

伊丹市立工芸センター

2016年11.12〔土〕-12.25〔日〕

月曜休館(祝日の場合翌日)・入場無料
10:00-18:00(入館は17:30まで)

ITAMI

二〇一六伊丹国際クラフト展

酒器 / 酒盃台



大賞: 三浦稔幸 "Hanataba"

2016 ITAMI
International
Craft Exhibition

shuki
shuhaidai

二〇一六
伊丹国際
クラフト展

酒器 / 酒盃台



準大賞 (白雪賞): 松浦健司
"saki"



伊丹賞: 石田彩
"Layer of Minerals"



優秀賞 (白雪・伊丹諸白賞): 坪内剛生
"ひととき"



奨励賞 (老松賞): 竹田みずほ / 阪上万里美
"水鏡"



奨励賞 (光陽社賞): Lee Joonho
"Dodecagonal Liquor set with cloud patterns"



グッドマテリアル賞 (佐竹ガラス賞): Gort Elisabeth
"天地人"



審査員賞: 増原嘉央理
"girar"

The Museum of Arts & Crafts ITAMI 伊丹市立工芸センター

itami

2016年11.12[土] - 12.25[日]

月曜休館 (祝日の場合翌日)・入場無料
10:00-18:00 (入館は17:30まで)

「伊丹国際クラフト展」は、今回で19回目を迎えました。

今年のテーマは「酒器・酒盃台」です。清酒発祥の地・伊丹市は、酒造りの町として発展してきました。2013年10月には「清酒発祥の地・伊丹の清酒の普及の促進に関する条例」(「日本酒で乾杯」条例)も施行され、伊丹の酒文化の普及に向けた取り組みは、さらなる盛り上がりを見せています。

「日本酒で乾杯するシーンを愉しむ酒器と楽しい酒の場を演出する道具としての酒盃台」をテーマに作品を募集したところ、海外12か国52名を含む297名、1,430点の応募がありました。厳正な審査の結果、98名が入選、そのうち8名が入賞されました。応募された作品は、様々なコンセプト、造形美に溢れており、高度な技巧や素材を活かした「酒器」や「酒盃台」の周りに人が集うさまが思い浮かぶものが数多く見られました。本展では多様な表現で宴を彩る「酒器・酒盃台」をお楽しみいただければ幸いです。

「コミュニケーションとコラボレーション」

楽しく審査会は進んだ。

もとより、酒器・酒盃台の生かされる場を厭う者は少ないのだから当然ではある。審査員の誰もが、出品された酒器・酒盃台を用いたハレの場を、あるいは密やかで親密な場を思い浮かべながら、想像の酒を堪能した。

酒器・酒盃台の紡ぎ出す場は、人と人の繋がりを大切にしようとする場である。たとえ独り酒に浸っていたとしても、その場には居ない大切に懐かしい誰かの顔が、杯の向こうに見えているものだ。

今回の受賞作の幾つかは、それが並べられた卓上の華やぎを想像させてくれるし、その場に居る皆を笑顔で繋ぐ雰囲気演出するに十分な企みに満ちている。人をもてなそうという気持ち、人と人を結びつけようという気持ちにあふれた作品は、作者の気持ちの豊かさを感じさせてくれて嬉しい。

審査員長 小清水 漸 [彫刻家・京都市立芸術大学名誉教授]

[Events]

01: 「入賞作家の作品で伊丹のお酒を呑もう!」
—伊丹酒ベースのハーブカクテルを(有料)—
11月13日[日] 11:00-17:30
会場: 旧石橋家住宅(工芸センター隣接)カウンター

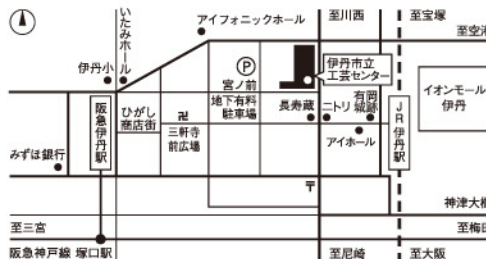
02: 「街なかの飲食店で、
伊丹国際クラフト展の入賞作家の作品を使って伊丹の日本酒を呑もう!」
11月18日[金]-12月25日[日]

[表彰式]

11月12日[土] 13:00 - B1F 企画展示室前ロビー

[次回予告]

2017 伊丹国際クラフト展 主題「ジュエリー」
登録締切 2017年8月予定



伊丹市立工芸センター

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-28
TEL:072-772-5557 / FAX:072-772-5558
http://mac-itami.com

阪急 | 伊丹線伊丹駅下車 北東へ徒歩約9分
JR | 宝塚線伊丹駅下車 北西へ徒歩約6分
※駐車場はごさいませんので、
宮ノ前地下駐車場[有料]をご利用ください。

主催: 伊丹市立工芸センター [公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市]
協賛: 小西酒造(株)・伊丹老松酒造(株)・(株)光陽社・佐竹ガラス(株)・伊丹酒造組合
後援: 近畿経済産業局・兵庫県・(社)総合デザイナー協会 DAS
(株)ベイ・コミュニケーションズ・伊丹コミュニティ放送(株)